

【開催報告】 第2回「みずうみのかぜ～宍道☆まなびデザインの会～」(兼学校運営協議会 役員会)を開催しました

10月22日(木)、本校の大講義室にて第2回「みずうみのかぜ～宍道☆まなびデザインの会～」(兼第2回学校運営協議会 役員会)を開催いたしました。地域・関係機関の役員の皆様にお集まりいただき、今年度の事業中間報告や今後の取り組みについて活発な意見交換が行われました。



●今回の主な協議内容・報告事項

○令和8年度 事業中間報告

- ・地域の成果： 宍道公民館の川柳募集において、本校生徒の作品「夕日見て 心も染まる 宍道町」が入賞するなど、10年間にわたる地域連携指導の成果が実を結んできました。
 - ・事業の取り組み： 地域の居場所づくり「みんなネ会議」の発足、学びを深めるボランティア活動、通信制生徒による「哲学会議」など、地域と連携した多様な学習機会を展開しています。
- 今後の予定： 2月19日(金)に成果発表会「まなびキセキ」を開催予定です。

○「ネクストハイスクール」事業の推進

- ・本校が拠点となり、これまでの遠隔配信授業の成果を生かしながら、今後の社会を見据えた新しい学びに挑戦します。
- ・デジタルを活用した学習(レポートのデジタル化など)を進め、生徒の学びの充実感と指導力の向上を目指します。

○学校運営・働き方改革・学校評価

- ・上半期の会計報告および学校魅力化アンケートの分析報告を行いました。
- ・教職員の働き方改革(定時退庁日の実施やマニュアル化)の推進や、今後の学校評価のスケジュールについて確認を行いました。

○役員・委員からの主なご意見・ご感想

- ・通信制の現状と期待： 公立通信制へのニーズが高まる中、レポートのデジタル化など時代に合わせた教育活動に期待が寄せられました。
- ・地域連携と情報発信： 「宍道は学びの宝庫」であり地域連携の深まりを実感する一方、取り組みの魅力を地域住民の皆様へさらに発信していく重要性(公民館だよりの活用など)が共有されました。
- ・多様性と本質的な学び： 変化の激しい時代だからこそ、多様性に配慮しながら、社会を支える基盤となる資質や能力を確実に育む教育を推進していくことが確認されました。

本校では今後も、地域社会と密に連携しながら、生徒一人ひとりの豊かな学びと成長を支援してまいります。ご出席いただいた役員の皆様、誠にありがとうございました。